

土にふれる生活をはじめよう！ 生活クラブ農業体験農園「のらっこ」

のらっこあきる野

市民参加による都市農業を守り育てる取組みとして、あきる野市内の休耕農地を借用し「生活クラブ農園・あきる野」を開園。組合員が農産物の生産に関わる直営農場と組合員が参加する農業体験農園「のらっこあきる野」の二つを柱としています。



▲収穫のようす。土にふれると自然と笑顔になります

◀江戸東京野菜や固定種にこだわり、無農薬栽培にもチャレンジ

のらっこ担当の小澤さん。▶
随所で丁寧な説明がとても分かりやすいと評判



伍俵大根大根(左)と
聖徳院大根(右)



内藤カボチャ




馬込半白キュウリ

1年間の流れ

- 12～1月 申込み
- 2月 入園者の決定、契約
- 3月 講習会スタート
- 4～6月 夏野菜の植え付け
- 6～7月 収穫最盛期！
1品持ち寄りで収穫交流会
- 9～10月 秋野菜の植え付け
- 11～12月 収穫最盛期！
1品持ち寄りで収穫交流会

募集要項

募集対象：組合員とその家族で定期的に通える方
※講習会は多くて月2回。日曜日の午前中に参加できる方。
利用期間：2020年3月下旬～2021年1月末まで
利用料金：年間39,600円(税込)
※指導料・農具・種苗・収穫物代含む。2家族でのシェア、料金の分割支払い(2回)も可能。
農園場所：あきる野市下代継 265-1
JR五日市線・武蔵引田駅もしくは秋川駅より徒歩10分
募集区画数：若干数 ※1区画約24㎡
区画面積が変更になり、利用金額も値下げいたします
申込み方法：お電話・WEBサイトからお申込みください
※先着順。定員になり次第、締め切ります。
入園説明会のお知らせを別途ご案内します。
お申込みはこちらから 

問い合わせ：政策推進課 TEL:03-5426-5204

生活クラブ・東京は、都市農業を守り、「農」に親しむ活動を展開しています。今回は農業体験農園「のらっこ」にスポットをあて、活動のようすをご紹介します。



のらっこしみず、のらっこおいぬま

生活クラブの農業体験農園「のらっこ」は、提携生産者の畑で指導を受けながら耕作体験ができる農業体験農園です。2011年には「のらっこしみず」が、続いて「のらっこおいぬま」が開園しています。講習会では、実際の作業を目的で見ることでできるのが初心者の方でも安心して「農」に親しめるのが特長です。

のらっこしみず

デポ・出荷生産者の清水誠一さんの畑で農作業を体験し、「農」に触れます。
農園場所：清水誠一さんの畑(和光市下新倉)
問合せ：北東京生活クラブ TEL03-3970-4632



▲大きなカブ!? 収穫の楽しみはおおげいで



▲流石の一言に尽きるプロの捌捌き

のらっこおいぬま

町田地場生産組合老沼幸彦さんの畑で農作業を体験。都市農業へ理解を深めています。
農園場所：老沼幸彦さんの畑(町田市上小山田)
問合せ：多摩南生活クラブ TEL042-798-4371



▲手塩にかけて育てたキャベツや大根たち。こんなに大きくなりました!



◀にっこり笑顔の気さくな生産者 清水さん

▲秋の交流会はバーベキューで盛り上がりました



◀農への熱い思いを持つ老沼さん

▲収穫祭の一コマ。畑でいただく豚汁は格別!

「農」を体感し、生産者に思いを馳せる

のらっこでは収穫の喜びをはじめ、入園者どうしのつながりなどを楽しまますが、日々自然に向き合い作物を育てている生産者の姿にいろいろな発見があると思います。
ご家族はもちろん、セカンドライフとしても「農」を身近に感じられるのらっこはおすすです。農機具の他、種や苗まで用意されているので初心者にも安心です。農業に頼らない野菜づくりをのらっこではじめてみませんか!



生活クラブ・東京 副理事長 加瀬和美

学校追加企画

参加無料

食と農を考えるフォーラム
農地を守る～やさか共同農場の実践から
2月1日(土) 10:30～12:30
講師：佐藤大輔さん(やさか共同農場)
会場：生活クラブ館地下(世田谷区宮坂 3-13-13)
申込み締切：1月24日(金)
託児申込み締切：1月17日(金) 定員5名
エッコロたすけあい制度未加入者と組合員以外の託児料 500円
主催：生活クラブ・東京「食と農」政策委員会
産直運動とは？共同農場とは？都議会に住む私たちはどのように向き合うべきなのか、いっしょに考えてみませんか。
問い合わせ：政策推進課 ☎03-5426-5204 (月～金 9～17時)

